

人 輝く・安芸高田



あきたかた

議会だより

今回の題字は、出口瑠璃さん(吉田中学校3年生)です。



表紙の絵は、いまもと 今本天斗くん(吉田中学校1年生)です。
平成21年度安芸高田市吉田歴史民俗資料館主催絵画コンクール「文化財を描こう」吉田歴史民俗資料館長賞
(現 安芸高田市歴史民俗博物館)

給食センター建設へ.....3

葬斎場建設調査特別委員会設置.....4

12人が市政を問う.....8~13

21年度政務調査費.....16

地域のかがやき.....18

第26号

2010(平成22)年 8月1日発行

一般会計補正予算

1億1111万円

可決

県からの委託事業

県道(千代田・八千代線)改良 早期完了を!

6月定例会を6月11日～6月23日までを会期として開催。

一般会計補正予算など13議案について質疑・答弁があり、すべて原案のとおり可決した。

各常任委員会へ付託した条例などの4議案は、すべて原案のとおり可決した。(各常任委員会の審査は5～7ページに掲載)

一般質問では、12人が市政を問う。(8～13ページに掲載)



早期完了が待たれる県道千代田・八千代線

(付議された案件)

- 同意第3号 安芸高田市副市長の選任の同意について
- 同意第4号・第5号・第6号 安芸高田市固定資産評価審査委員会委員の選任の同意について
- 同意第7号 安芸高田市公平委員会委員の選任の同意について
- 諮問第2号・第3号 人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて
- 議案第57号 安芸高田市退職手当審査会設置条例
- 議案第58号 安芸高田市職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例
- 議案第59号 安芸高田市職員団体のための職員の行為の制限の特例に関する条例の一部を改正する条例
- 議案第60号 安芸高田市地区集会所設置及び管理条例の一部を改正する条例
- 議案第61号 財産の無償譲渡について
- 議案第62号 財産の無償貸付について
- 議案第63号 安芸高田市自家用有償旅客運送条例
- 議案第64号 安芸高田市火災予防条例の一部を改正する条例
- 議案第65号 安芸高田市鳥獣被害防止総合対策分担金徴収条例
- 議案第66号 平成22年度安芸高田市一般会計補正予算(第1号)
- 議案第67号・第68号・第69号 工事請負契約の締結について
- 発議第2号 「教育予算を増額し義務教育費国庫負担制度堅持」を求める意見書について

可
決

給食センター建設工事を分離発注

工事請負契約の締結

・安芸高田市給食センター（仮称）建築本体工事

事後審査型一般競争入札 4億749万円

契約相手 (株)栗本 (広島市西区南観音7丁目14番20号)

・安芸高田市給食センター（仮称）機械設備工事

事後審査型一般競争入札 2億6157万円

契約相手 (株)中電工 安芸高田営業所 (吉田町吉田196番地86号)

・安芸高田市給食センター（仮称）厨房設備工事

指名競争入札 2億1520万円

契約相手 (有)総合厨房設計 (広島市西区井口3丁目1番14号)

■ 質 疑

青原 機械設備工事の電気設備はソーラーを使用するのか。また、電灯はLEDを使用か。

竹本政策企画課長

電灯設備はLEDの併用対応を考えている。ソーラー（太陽光発電）設備では大きな効果が望めないため、設備計画はない。

今村 本体工事は何社の応札だったのか。

河野建設部長 7社の応札があった。

金行 契約金額には消費税が含まれているか。

清水総務企画部長

含んだもので契約金額を提示している。

水戸 分離発注であるが、それぞれの業者の施工管理にあたっての注意点は。

竹本政策企画課長

工程上の連携や調整等対応はしっかり行う。

秋田 厨房設備工事の残菜設備の内容は。

竹本政策企画課長

残菜等を軽量にして産業廃棄物として処分するための脱水設備である。



給食センター建設予定地（アグリフーズ横）

副市長選任同意

藤川幸典氏を再任
優れた行政経験を評価

■ 討 論

■ 反対 なし

■ 賛成 赤川・山本

実直な人柄と行動力を高く評価する。



藤川幸典副市長（S24.5.9 生）

葬斎場建設調査特別委員会を設置

委員長 赤川 三郎 副委員長 秋田 雅朝

定例会最終日の6月23日、議長を除く19人の議員で構成する「葬斎場建設調査特別委員会」設置案が提案され、全員の同意によって特別委員会を設置した。

この特別委員会では、これまでの葬斎場建設計画の経過を踏まえ、予算規模・施設機能などを調査する。

【議員発議】

「教育予算を増額し、義務教育費国庫負担 制度の堅持」を求める意見書について

可
決

- 提出者 文教厚生常任委員会委員長
- 要 旨 自治体の財政力や保護者の家計の違いによって、子どもたちが受ける「教育水準」に格差があってはならない。
教育予算を国全体としてしっかり確保・充実させる必要がある。

- 審議の結果、賛成多数で可決し、内閣総理大臣を始めとする関係閣僚へ意見書を送付することとした。
定例会閉会后、議長より内閣総理大臣あてに意見書を送付。関係する閣僚へも同様に意見書を送付した。

総務企画常任委員会

6月定例会で付託された議案3件、陳情書2件について、6月17日に委員会を開き、慎重に審査した。そのほか、所管事務について2件の調査を実施。

(主な審査)

- 安芸高田市退職手当審査会設置条例
- 安芸高田市職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例
- 安芸高田市自家用有償旅客運送条例

委員長 赤川三郎
副委員長 山根温子
委員 大下正幸
委員 先川和幸
委員 金行哲昭
委員 今村義照
委員 藤井昌之

育児や介護をしながら働ける労働環境の整備へ

法律の改正にともなう市条例の改正

働く親がともに育児にかかわる制度へ
看護や介護への短期休暇の導入

先川・今村 職員の人員削減を行うなかで、この制度に伴う職員数と事務量についての対策は。

清水総務企画部長 民間活力による事務委託等、第二次行政改革の取り組みの中で調整する。

■ 討 論

■ 反 対
なし

賛成
山根 現在の核家族化による子育ての状況や高齢者を抱える家庭の介護状況にはこの条例改正は必要であり、人事管理システムの活用等により、職員が安心して仕事に専念できる環境づくりをすべき。

安芸高田市自家用有償旅客運送条例

22年10月からの「お太助ワゴン」の市内全域への拡大にあわせ、美土里町智教寺・大所地域と高宮町川根地域が、車両の運行を担う実情に合った公共交通とするため、管理運営に係る必要事項を定めるもの。

退職手当審査会を設置

広島県市町総合事務組合退職手当条例の改正にともなう市機関の設置

藤井・金行・山根 過去に審査の必要な事例は。
沖野総務課長 市になつてからの事例はなく、事件の発生は非常に稀であると考える。

今村 委員の人数と人材確保は。
沖野総務課長 全国の状況を調査し、また、市の人口規模から、委員は3名とした。

陳 情

- ◎「永住外国人地方参政権付与」反対についての陳情書
- ◎選択的夫婦別姓制度の法制化に反対する陳情書

■上記2件の陳情について審査の結果、2件とも不採択とした。

文教厚生常任委員会

6月定例会で付託された議案はなく、送付された要望3件、陳情3件について、6月18日に委員会を開き慎重に審査した。そのほか、所管事務について5件の調査を実施。

委員長 青原敏治
副委員長 穴戸邦夫
委員 石飛慶久

児玉史則
水戸眞悟
山本 優
塚本 近

要望

◎通学路安全確保の早期実現のお願い

要望者 安芸高田市立美土里小・中学校PTA会長、同小・中学校校外指導部長
要 旨 通学路である主要地方道（県道）吉田邑南線（美土里町）の歩道新設と拡張について、早期実現を。

陳情

◎吉田小学校放課後児童クラブの受け入れ増加並びに施設増設の実施に関する陳情

陳情者 児童クラブいるか 役員（吉田町）
要 旨 入所希望が多く、定数超過で低学年の児童が入所できない。

◎教育予算を増額し、義務教育費国庫負担制度の堅持を求める意見書提出に関する陳情

陳情者 広島県教職員組合ひろしま地区支部安芸高田支区支区長
要 旨 1. 教育の自治体間格差生じさせないために、義務教育費国庫負担制度について国庫負担率を2分の1に還元することを含め制度を堅持すること。
2. 学校施設整備費、就学援助、奨学金、学校・通学路の安全対策など、教育予算充実のため、地方交付税を含む国の予算を拡充すること。

- 上記3件の要望・陳情については委員会で採択し、諸手続きを経てそれぞれ関係機関（国・県・市）に意見書の提出、要望活動を行うこととした。
- 「(株)エドラス化学工業所積替保管庫当地区への移転計画撤回についてのお願い」と「ご報告とお願い」については継続審査。
- 「子ども手当の廃止を求める意見書の提出に関する陳情書」は不採択。



通学路歩道狭小箇所（美土里町本郷）



通学路歩道未設置箇所（美土里町北）

産業建設常任委員会

6月定例会で付託された議案1件を、6月21日に委員会を開き、慎重に審査し、原案のとおり可決した。そのほか、所管事務について3件の調査を実施。

(主な審査)

○安芸高田市鳥獣被害防止総合対策分担金徴収条例

委員長 秋田雅朝
副委員長 前川正昭
委員 前重昌敬
委員 和田一雄

入本和男
亀岡等

平成22年度 鳥獣害防護柵【国庫補助事業】

新たな鳥獣害防護柵事業へ

《事業名》鳥獣害防止総合対策交付金事業 《メニュー》鳥獣害防護施設
《事業主体》安芸高田市 《事業費の割合》国:55%、市:25%、自己負担:20%
《整備内容》

- ① 防護柵の資材は、市が発注
- ② 防護柵の設置は設置希望団体で実施（作業日当は補助対象外）
- ③ 資材費の一部は設置希望団体から分担金として徴収

《単市補助金、その他機関の補助金》 詳細については担当課等へ問い合わせを！

- ① 補助交付主体：安芸高田市（柵設置にかかる資材費に対して）
- ② 補助交付主体：広島北部農業協同組合（農協で購入した柵の資材費に対して）
- ③ 補助交付主体：広島県西部農業共済組合（購入した資材費に対して）

前川 市が資材を購入する業者はどのように決めるのか。

清水地域営農課長

入札により業者を選定。

前重 田畑の一部を覆うことはできないか。

清水地域営農課長

国の補助事業においてはそうである。飛び地、戸数が少ない場合は、単市、北部農業協同組合、県農業共済組合等の事業を活用したい。

入本 市の補助を含めた22年度の予算、現状の申込件数は。

清水地域営農課長

国の補助事業は予算1500万円で、現在8団体から要望。単市の補助事業は予算500万円で、申請団体が24団体である。

入本 9月補正での対応を考えているか。

浜田市長

採択要件を満たしていれば、補正も考慮したい。



市政を問う

和田 街並み再生として吉田町の中心地本通り商店街を再生する考えは。

市長 文化的にも貴重な街並みが残っており、まず居住する方の思いを尊重した取り組みをしたい。



和田 一雄
(日本共産党)

商店街

街並み再生は

市長／居住者の思いを尊重した取り組みを

和田 商店街のインフラ整備と多文化共生、空き家・店舗を活用した外国人の居住地と外人街の建設、各国の料理・民芸・文化等多文化共生を推進し、お客様と市民のコミュニケーションを図る考えは。

市長 商店街の空き家を住居として提供し活性化する。また、対等な関係を構築し、社会参加を促し、アンケート調査



吉田本通り商店街

和田 商店街のインフラ整備と多文化共生、空き家・店舗を活用した外国人の居住地と外人街の建設、各国の料理・民芸・文化等多文化共生を推進し、お客様と市民のコミュニケーションを図る考えは。

民文化センターにおいて、水曜日19時半から21時の時間帯で開催している。

や講演会等も検討を考えている。

和田 3月末現在、外国人登録者数は16力国で575名、日本語教室の設置状況は。

教育長 生涯学習関係で実施。市



農作物被害防護柵

和田 鳥獣による農作物被害防護柵設置補助をさらに活用しやすい制度にならないか。

市長 大切な作物を守るため防護柵設置は緊急な場合があり、補助制度は幅を持った運用ができるようさら



宍戸 邦夫
(無所属)

鳥獣対策

さらに活用しやすい補助制度に

市長／幅を持って運用できるよう工夫

に工夫、改良する。

宍戸 現時点の市としての口蹄疫対策は。

市長 和牛飼育や酪農が盛んな当市（現在94戸、5030頭飼育）としても、いつ口蹄疫が発生するかわからず、関係機関と連携し飼養農家に対し情報提供するとともに「家畜の状態の観察」「畜舎へ出入りする際の消毒の実施」の徹底をお願いしている。特にウイルス侵入防止のため、JA広島北部農協と連携して消石灰を無料で各農家に配布している。

一問一答

12人が



先川 和幸
(無所属)

林道入江・戸島線

事業の取り組み状況は

市長/23年度事業実施に向け鋭意努力中

先川 林道入江・戸島線の事業計画の進捗状況は。
市長 本事業は国の地域再生基盤強化交付金で行い、総延長5017メートル、幅員4メートルを5ヶ年で整備するも

ので、今後環境調査等を行い、国及び県へ計画書を提出する予定としている。順調に行けば23年度に採択の予定である。
先川 本年4月1日より施行された向原公民館の管理変更について、その理由は。
教育長 現在、市を挙げての行財政改革に取り組んでおり、最小の費用で最大の効果を得るよう実施したものである。なお、事前に利用関係者の意見は聞いていないが、夜間のカギ等の取り扱いついで、利用団体の意見を聞きながら改善を行いたい。

市民総ヘルパー構想

市長/ボランティア活動の在り方を含め市民に啓発

政策展開は



今村 義照
(あきの会)

今村 市民総ヘルパー構想の政策展開は。
市長 意図するところは、福祉・介護などの一般知識の向上と財政を支えるのが原点。
今村 その政策目標を市民に示すべき。
市長 具体的な目標数値を示すのは難しいが、高齢化が進む中で、その目標を近く示したい。

今村 長期総合計画の進捗と構想との間において、どのように位置づけられ、その計画見直しはあるのか。
市長 長期総合計画の見直しは必要と考えるが、その成果をどのように期待するかは色々な人との論議を進め、医療費の抑制、福祉費の抑制について検討する。



ヘルパー養成講習風景

今村 市民に説明するには具体的な目標数値を示し、市民ニーズをいかに汲み取るかが語られるべき。その方策は。
市長 第四期介護保険事業計画により施設の設備計画を行っているが、ハード事業だけでなく、ボランティア活動のあり方を含め、市民に啓発していきたい。

若者定住対策

サッカー拠点施設、今後の構想は

市長／サッカーアカデミー構想を検討中



前重 サンフレッチェエ広島マザータウンのサッカー拠点施設等の環境を生かし、若者が集い、活力あるまちづくりの推進に向けた中期、長期を見据えた今後の構想は。

市長 日本サッカー協会のサッカーアカデミー構想を、実効性のある計画に取りまとめたい。

前重 新たな生活交通体系の運行で、障がい者への対応を現在どう進めているか。

市長 安芸高田市自立支援協議会で、福祉担当・公共交通担当部局で協議中である。また、お太助ワゴンを利用できない障がいのある方が、安価で外出できる仕組みづくりを現在検討している。



神楽

観光振興施策は

市長／全国に神楽を推進



大下 神楽を活かした滞在型の具体的な観光施策は。

市長 伝統芸能、歴史的財産をPRするためのプロモーションDVDや看板の作成、スポーツを合わせたポスターやパン

フレット類の充実、他組織と交流を図り全国に神楽を推進する。

大下 お太助ワゴンの土日運行と車椅子での利用は。

市長 土日の運行は、市の行事や催しが行われる場合、交通手段を検討し車椅子の方の利用も検討する。



企業保護

**市長／元請け企業には市内業者を
使うようお願いしている**

地元企業の活用は



金行 哲昭
(政友会)

金行 戸別所得補償制度の、背景と現場実務スケジュールについてわかりやすく説明を。

金行 下請企業保護について、地域経済振興・雇用促進のため、大手から我が市の地元の下請けや工事材料を使用するよう指導しているのか。
市長 できるだけ、市内業者・材料を使うようお願いしている。

市長 農村は、農業所得激減、高齢化等危機的な状況であり、食糧自給率の向



地元企業の活用を

上を図り農業経営を改善し、交付単価10a当り1万5千円を支給。加入申請書提出し、23年1月ごろに交付金の支給決定通知する。関係機関と十分連携を保ち、この制度の浸透に努力する。



石飛 慶久
(無所属)

林業振興

造林業の進捗状況は

**市長／平成10年度から
人工林の間伐実施中**

石飛 林業振興対策の造林業の進捗状況は。
市長 山林面積の約四分の一の1万ヘクタールが人工林面積。平成10年度から人工林の約27%を間伐実施している。



間伐された山林

石飛 枝打ち、間伐の対象林の決定は。
市長 低コスト林業23団地を森林組合と長期施業受託契約。
石飛 危険地域、環境整備の観点からの林業の推進が必要では。

石飛 枝打ち、間伐の対象林の決定は。
市長 低コスト林業23団地を森林組合と長期施業受託契約。
石飛 危険地域、環境整備の観点からの林業の推進が必要では。
石飛 造林業の経営計画と過疎地域の未来創造支援事業の適用は。
市長 国、県の指導と関係機関と連携する。

高齢者の安全対策は 道路整備

市長/バリアフリーな交通環境を推進



青原 高齢者が安心して生活できるための道路整備に係る福祉政策は。
市長 高齢者の交通安全対策は重点的に取り組むべき課題と認識し、高齢者が利用しやすいようバリア



安全な歩道の拡張を

フリーな道路交通環境を形成しなければならぬと考える。国・県等と連携を図り各種の交通安全対策を総合的に推進し、高齢者その他の世代との共生の交通社会をつくる必要があると考える。

青原 現在改良中の**勝田根之谷線**の今後の計画は。
市長 改良速度は緩くなると思われるが、基本的には上根まで延伸することが望ましいと考える。市にとって大事な道路であり、しっかりと計画を立て要望を続けていきたい。



山根 事業仕分けの基本は、住民参加と情報公開と言われている。この市民参加型の事業仕分けの導入は。
市長 6月からすべての事務事業の総点検を行っている。まずは、職員の仕分けの手腕を見ていく。

山根 予算編成過程の公表は。
市長 予算編成基本方針や編成作業スケジュールについての公表を前向きに検討。

事業仕分け

住民参加と情報公開は
市長/まずは庁内での総点検から

山根 審議会への女性の参画は。
清水総務企画部長 女性ゼロの防災会議に22年度初めて4名の女性を任命した。
山根 食育の推進「弁当の日」の実践は。
教育長 新給食センターの運営が軌道に乗った後の課題である。

事務事業CD	事務事業名	所属	担当者名
1	1. 趣旨・目的に適合性がない 2. 効果・目的と方法、この事業自体は他の事業との統合・再編が必要 3. その他	廃止 (ただし廃止できない場合は、経過措置 年まで廃止)	
2	実施は民間/地域等に任せる 1. 民間、地域社会の自主的な取り組みに変えた方が効果的・効率的 2. 効果・目的と方法、この事業自体は他の事業との統合・再編が必要 3. その他		
3	ア、来年度の予算計上は見送り イ、予算要求の削減(下記のa, b, cのいずれかを選択してください) a. 削減率 b. 1/3程度削減 c. その他 1. 趣旨・目的に適合性がない 2. 効果・目的と方法、この事業自体は他の事業との統合・再編が必要 3. 実行計画が明確になり、効果が確実に期待されている 4. 効果・目的と方法、この事業自体は他の事業との統合・再編が必要 5. その他		
4	予算要求どおり 1. 実行どおり実施して問題ない 2. 事業の効率化を図った実績 3. その他		

454項目の事務事業について、この作業シートで点検中



山本 優 (絆)

定住促進

人口増対策は

市長/総合的・体系的な対策を検討

山本 定住促進対策において市有地の有効活用・建設費・家賃・税制等配慮することによって定住促進につながるのでは。市長 あらゆる制度を活用して対処して



人口増に市有住宅の活用を

いきたい。山本 人口増対策は。市長 本市は広島市に隣接していることもあり、伝統文化・スポーツ等、ソフト面も含めた総合的・体系的な対策を検討したい。

山本 基本的に環境整備が大事、家賃や教育医療・生活環境がしつかりする事ができないか。市長 水洗化も含め立地条件を生かし政策展開を図っていき



入本 和男 (あきの会)

入本 多文化共生の施策目的は。市長 外国人の方も同じ地域住民としてお互いに認め合い、共に地域づくりをしていくための環境づくりを進める。入本 今後、推進計画の策定は。市長 県立大学と官学協力し、中山間地域における多文化共生の仕組みづくりで、外国人就労者の暮らしぶり調査を企業や商工会に協力いただき、これをもとにアンケート調査を実施する。

外国人

多文化共生は

市長/共に地域づくり

入本 外国人への日本語教育の対応は。教育長 クリスタルアービジョにおいて、毎週水曜午後7時半から日本語教室を実施している。

入本 安芸高田市国際交流協会の組織とは。市長 今後、連携を図りながら協力をお願いしていく。



甲田わいわいまつりで国際交流 (H21.10.11)

承

専決処分した事件

認

- 第1号 平成21年度安芸高田市一般会計補正予算（第8号）
- 第2号 安芸高田市税条例の一部を改正する条例
- 第3号 安芸高田市国民健康保険税条例の一部を改正する条例
- 第4号 過疎地域自立促進特別措置法に基づく安芸高田市固定資産税の課税免除に関する条例の一部を改正する条例

可

工事請負契約の締結

決

- ・安芸高田市立吉田小学校耐震改修工事**
 一般競争入札 5億2479万円
 契約相手 (株)砂原組 安芸高田営業所（吉田町吉田2156番地）
- ・安芸高田市立吉田中学校耐震改修工事**
 一般競争入札 2億9326万円
 契約相手 (株)栗本（広島市西区南観音7丁目14番20号）

5月19日、22年第2回臨時会を開催し、承認4件、工事請負契約2件について審議し、すべて原案のとおり可決。

質疑

金行・入本 入札業者数、工期、地元業者との関係、落札率については。
河野建設部長 応札は2社。落札率は93・95%。
田丸教育次長 工期は22年度末まで。財源として景気対策事業も活用していることから、地元でできる工事は地元へ下請けに出すよう指導する。



吉田小学校



吉田中学校

芸北広域環境施設組合
(きれいセンター)
22年第1回組合議会臨時会が6月8日に開催され、提出議案2件を審査し認定した。

○請負契約の締結

- 一、件名
ごみ焼却炉修繕
- 一、請負金額
8967万円
(落札率69%)
- 一、請負者
虹技株式会社(姫路市大津区勘兵町四丁目一)
- 一、工期
22年6月9日～
23年2月28日
- 財産の取得
- 一、物件名
塵芥収集運搬車
一台
- 一、買入価格
696万円(6社入札)
- 一、落札者
芸備ダイハツ販売株式会社(吉田町常友1577番地1)
- 一、納入期限
22年8月31日

県立高校の学校間連携 県教委へ要望書を提出



6月28日（月）広島県教育委員会へ、市長・議長・教育長の連名で「小規模化した県立高等学校の学校間連携に関する要望」について要望書を提出。

出席者：市長、議長、教育長、文教厚生常任委員6人

- 要旨
- ・近隣校による「連携校」の制度は、小規模校の教育活動を充実させるとともに、多様な教育活動の展開を図るための手法であると理解している。
 - ・本制度の導入は、「将来の統廃合のステップになる」という懸念がある。
 - ・学校間の連携について、その効果の検証と学生や地域・保護者の統廃合への不安の一掃を強く要望。
 - ・学校を存続し、各校の特性を活かした教育活動が続けられるよう強く要望。



21年度 政務調査費

会派交付から個人交付へ・・・14人が交付申請
368万円支出 136万円返還

【政務調査費とは】

地方自治法に基づき市が条例を制定し、議員が調査研究を行うために必要な経費の一部として交付することができます。安芸高田市では、20年度まで会派に交付されていたものが、21年度より個人交付に改正されています。

1人月額3万円が交付され、年間で最高36万円を政務調査費として支出することができます。なお、残余金は返還しなければなりません。

政務調査費収支実績報告（議員合計額）

項 目		金 額 (円)
収入（交付金等）		5,040,076
支 出	調査研究関係費	3,166,347
	資料関係費	496,795
	広報公聴関係費	0
	そ の 他	15,603
	合 計	3,678,745
残余額（返還額）		1,361,331

■政務調査費申請者（14人）

前重 昌敬	赤川 三郎
大下 正幸	青原 敏治
和田 一雄	金行 哲昭
水戸 眞悟	入本 和男
山根 温子	今村 義照
山本 優	塚本 近
秋田 雅朝	藤井 昌之

■ 収入には預金利子が含まれているため端数が生じています。

議会マメ知識

議員の寄附行為の禁止

議員は、公職選挙法により、選挙区内の人にお金や物を贈ったり、年賀状などのあいさつ状を出したりすることが禁止されています。（ただし、答礼のための自筆によるものは除きます。）

例えば、議員が市内のお祭り、会合、スポーツ大会、親睦旅行などに対して、「寄附やお祝い」「飲食物の差し入れ」などをした場合には違法行為として処罰されます。

また、個人に対しても、「病氣見舞い」「入学や卒業等の祝い金」「お中元やお歳暮などの贈り物」を贈ることが禁じられています。（ただし、議員本人が出席する結婚披露宴の祝儀や葬儀の香典は例外的に罰則の対象となりません。）

議会のうごき

議会改革をめざして！ 市議会報告会を実施(予定)

1. 開催時期 11月（平日の19時から21時の予定）
2. 開催会場 6箇所（旧町単位）
3. 内 容
 - ・第1部：議会報告
 - ・第2部：意見交換会

22年第3回(9月)定例会

9月中旬から10月上旬までを会期として開催予定。

9月定例会では21年度決算審査のため「決算審査特別委員会」が設置され開かれる予定。

※市議会報告会並びに22年第3回（9月）定例会の詳細については、市のホームページや通知公報でお知らせします。

傍聴記「私はこう思う」

甲田町

西田

晃さん

平成22年第2回定例会市議会を傍聴させていただき、有意義な時間を作ることができました。現在の安芸高田市の現状、市政及び行政と議会側の連携が自分なりに解釈でき参考になりました。議事進行についても、無駄な時間がなく傍聴する側にとっても良い事と思えました。ただひとつ苦言を言わしていただければ、一問一答方式の質問もよろしいのですが、その質問に対し、時間制限もあると思いますが、もっと具体的に内容が傍聴側に伝わるよう御検討をお願いしたい。

吉田町

中島

政司さん

平成22年第2回定例会一般質問の傍聴にあたり、今回強く感じたことを表記します。私は以前より度々の傍聴の機会を得て、特に今回は一般質問の為関心を持ち参加しました。と共に、期待も大きく膨らんできました。各市議会議員様の質問事項も多種多様で掘り下げ、苦労の様子が分り、又市長様の答弁にも色々苦労され、マニフェストを強く強調され御立派でした。市の幹部の方々も色々考慮されていて、各自カラーが良くでて今後の市政運営に希望が持てる喜びを強く感じました。敬具

議会だより「朗読テープ」の貸し出しを行っています

朗読ボランティア「蜘蛛の糸」(代表 芦田道子さん)のご協力により、議会だより朗読テープの貸し出しを行っています。

貸し出し方法等の詳細は議会事務局（42-5621）へお問い合わせください。

地域のかがやき

吉田 子どもから大人まで元気ハツラツ

6月6日



第34回可愛地区町民運動会

八千代 「ぶどう」たわわに実る



ふるさと農園ぶどう園

美土里 神楽門前湯治村ボランティア美化活動

6月20日



ひろしまグリーン倶楽部のみなさん

高宮 第48回高宮方面隊分団査閲

7月4日



消防団訓練礼式とポンプ操法を競う

甲田 ガンバル 小田村



地域交流の場

向原 第27回夏休みラジオ体操のつどい

7月17日



向原町のみなさん

編集後記

大雨のあと、梅雨明けの青空の下、真夏日が続いています。この第26号の編集集中に、停滞した梅雨前線による大雨が、安芸高田市内を含め、広島県内にも大きな被害を出しました。

被害を受けられました皆様方に心よりお見舞い申し上げます。自然災害、特に大雨や暴風雨などによる「気象災害」が増えています。

これらの気象災害は、地球温暖化や環境劣化、急速な都市化など、人為的な影響が強いそうです。自然現象を止めることはできませんが、人間の行動による影響は改善できるはずですよ。

「災害は忘れた頃にやってくる」とは言っておれない現代です。一人一人が防災への関心を持ち、身近なところから防災に取り組むことで、被害を少なくし、そしていのちを守ることができるようではないでしょうか。

「備えあれば、憂いなし」昔からよく使われる言葉ですが、時を経ても通用することわざの深みを感じています。(山根 温子)

〈発行責任者〉 藤井 昌之
 議長 藤井 昌之
 〈議会広報特別委員会〉

委員長 穴戸 邦夫
 副委員長 山根 温子
 委員 前重 昌敬
 委員 児玉 史則
 委員 大下 正幸
 委員 前川 正昭